

ご参考資料

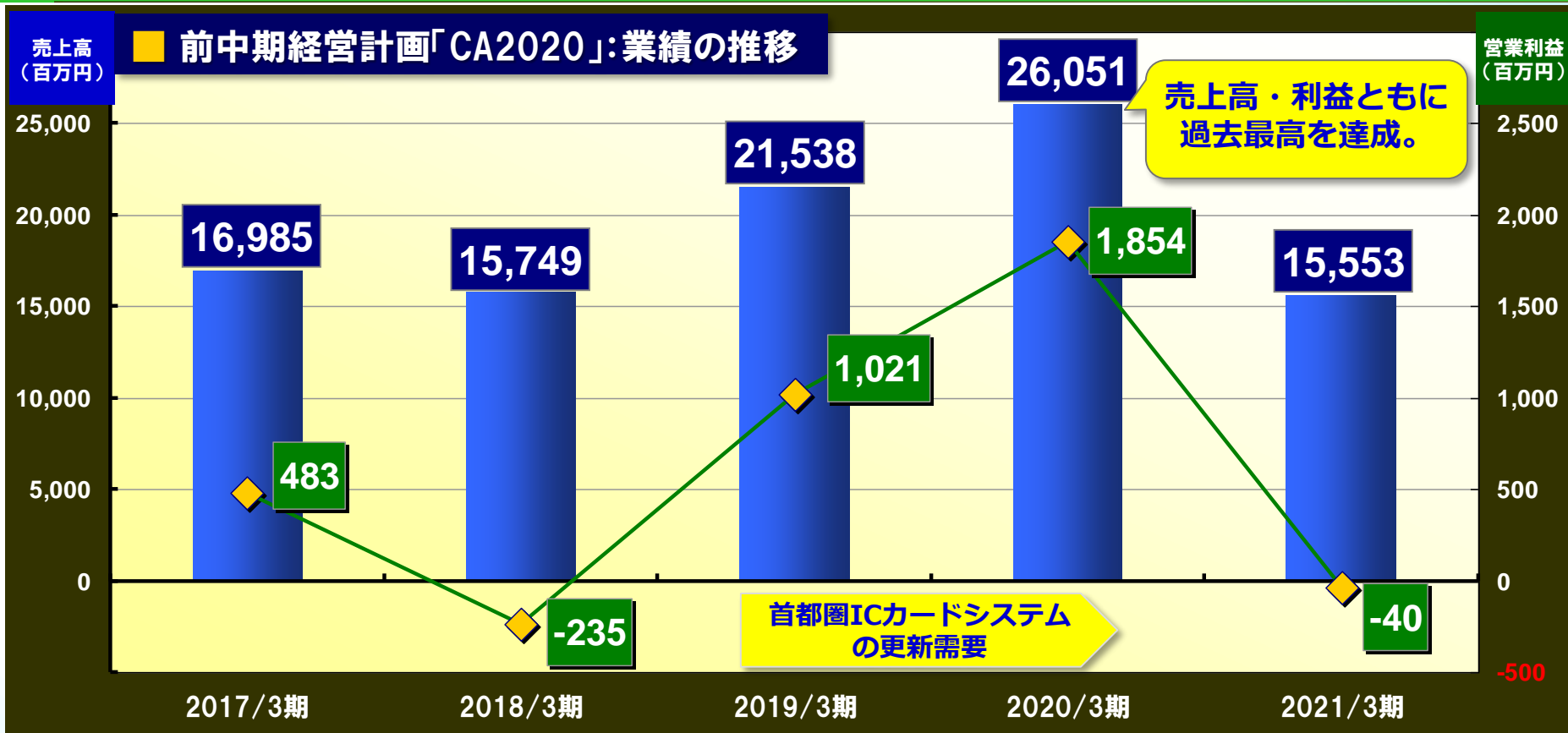
長期ビジョン 「VISION 2030」  
中期経営計画 「CN 2023」について

レシップホールディングス株式会社

**LECIP**  
GROUP

2021年 5月

# 前中期経営計画の振り返り



■ 今後の成長に向けた新たな成長ドライバーを開発



■ 2030年に向けた長期ビジョン

# VISION2030

■ ビジョンステートメント

**変わりゆく社会に、つなぐ技術とアイデアで、  
安全・安心、最適な日常を。**

■ 目指す姿

**モノとモノ・情報・サービスをつなぐことで、  
今後の時代に求められる安全・安心でかつ、  
最適な仕組みを実現する。**

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



世界が直面する社会課題の解決に取り組みながら、SDGsを新たな事業機会創出のチャンスととらえ、持続可能なよりよい社会の実現に貢献してまいります。

## 社会課題

- ・ 労働力不足
- ・ 交通弱者の解消
- ・ 脱自家用車
- ・ 脱炭素社会の実現
- ・ EV化
- ・ 省エネ化
- ・ 災害への備え
- ・ インフラの維持管理
- ・ 再生可能エネルギー

## 【 2030年に向け、社会に提供していく価値 】

### 使いやすくシームレスな輸送システム

- ・ シームレスな決済・乗車
- ・ 輸送の効率化、運行支援
- ・ 乗換に関する最適な情報
- ・ スマールモビリティシステム

### 脱炭素社会を支える周辺技術

- ・ EV産業用車両向け電源ソリューション
- ・ IoTを活用したバッテリー遠隔監視機能等のエネルギーマネジメントシステム
- ・ EV市場向け基板実装

### 安全・安心な街づくり

- ・ 災害時にもインフラを動かし続けるためのシステム・サービス
- ・ 移動と目的地をシームレスにつなげる仕組み

< 事業を通じて達成に貢献したいSDGs目標 >



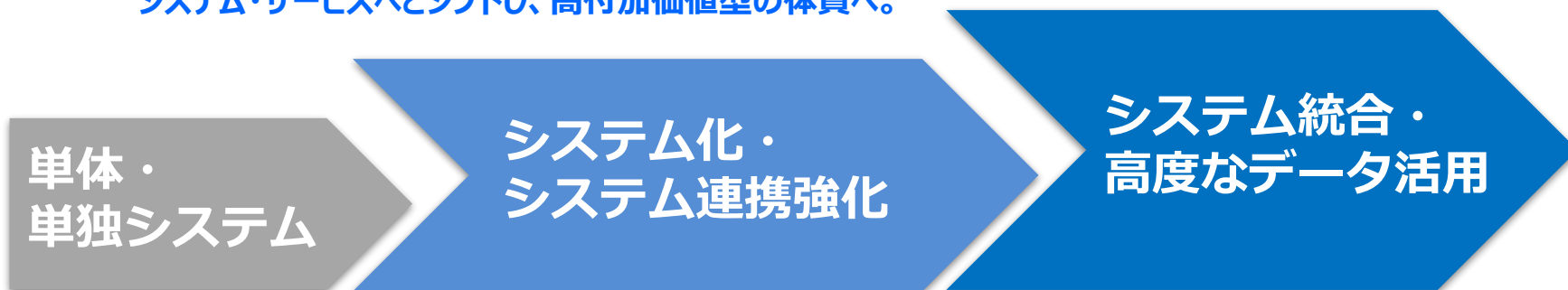
私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



## 【 2030年に向けた、事業戦略 】

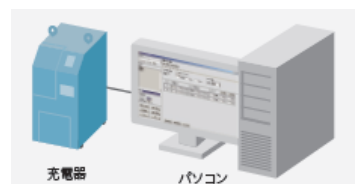
### ■ モノ+コトへの事業構造の変革

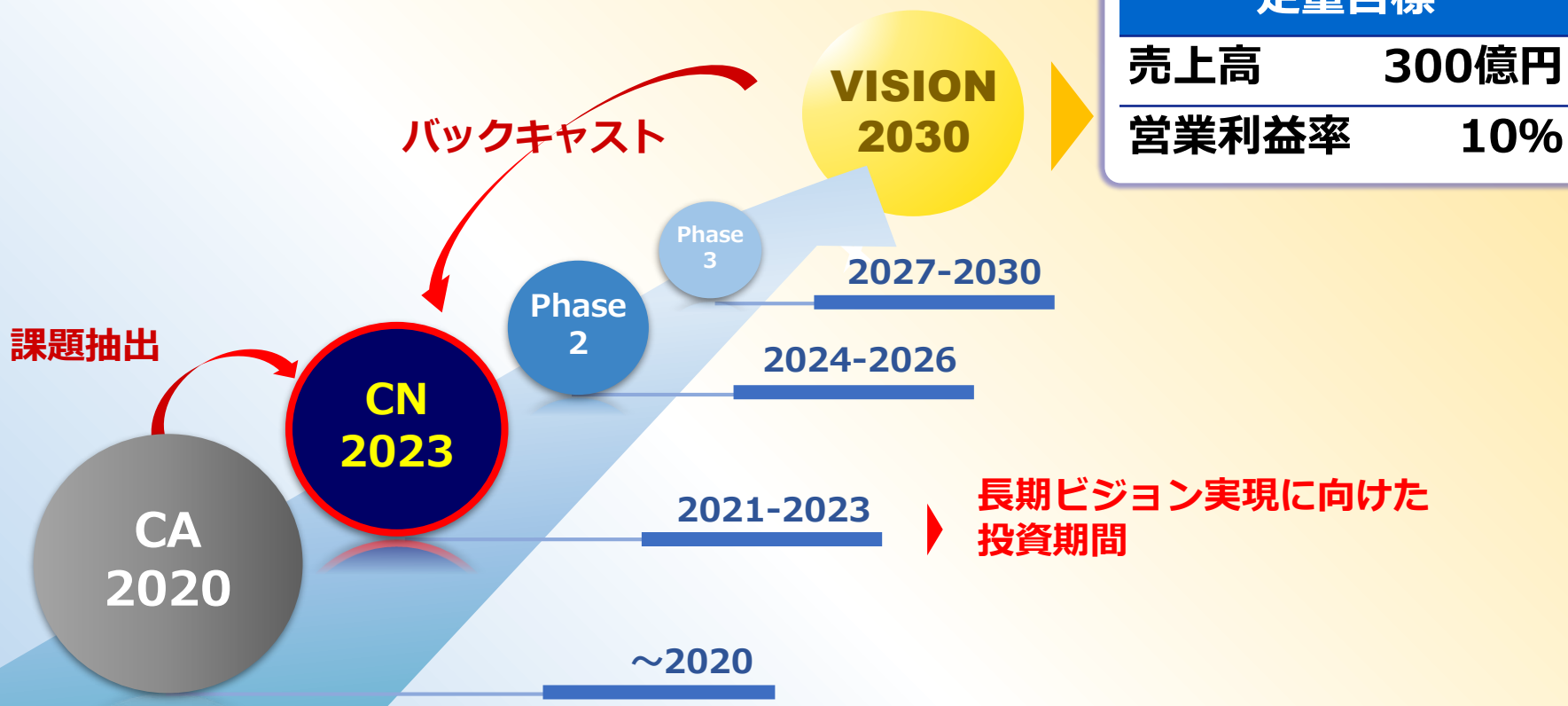
- ▶ ハードウェア中心の事業構造から、ハードを軸にソフトウェアを組み合わせたシステム・サービスへとシフトし、高付加価値型の体質へ。



### ■ 産業機器事業（エネルギーマネジメントシステム事業）を育成

- ▶ 世界的に温室効果ガス削減の動きが進むなか、世の中のEVシフトに対応。充電器ビジネスの横展開。
- ▶ IoTを活用したバッテリー遠隔監視機能等の開発を足掛かりに、エネルギーマネジメントシステムの充実を図り、再生可能エネルギーやスマートシティなど、新たなビジネス領域の開拓にも挑戦。





## 【2030を見据えた中期経営計画】

- ・ 2030年度VISIONからのバックキャストにより、中期経営計画を立案。
- ・ 長期ビジョン実現に向けたアクションプランとして、2021年度から2030年度までの10年間を、3つのフェーズに分けて取り組む。

中期経営計画(2021年度～2023年度)

# CN2023

Challenge to the Next stage 2023  
次のステージにチャレンジ

## 重点課題

モノ+コトへの新たな事業展開

MaaS、スマートシティに向けた新しい価値の提供

海外・国内ビジネスの新たな融合と広がり

事業構造の転換に向けた業務プロセスの抜本的変革

育成分野への経営資源のスムーズな移行

## 目標

売上高 200億円、営業利益率 5%





## キャッシュレス 運賃収受器 LV-700



## 乗車券購入アプリ QUICK RIDE



スマートフォンでモバイルチケットを購入  
画面を見せて乗車

## 海外向け新型運賃箱 LF-7000



- ✓多様なキャッシュレス決済対応の新型運賃収受機器をスウェーデン子会社にて開発
- ✓ドイツの公共交通機関向けシステムインテグレーター、IVU様にて採用

欧州市場に加え  
日本国内を含めた  
グローバルな販売をめざす

- ✓営業時間や場所にとらわれずチケットを購入可能
- ✓窓口対応時間の削減  
売上集計業務の効率化  
⇒業務の効率化とコスト低減に貢献

券種の拡大・システムの  
高度化により、導入事業者、  
利用者数の拡大を図る

- ✓基本機能を絞り、オプションを追加する仕様とし、幅広いニーズに対応

公共投資の増加が見込まれる  
米国市場を中心に  
さらなる受注拡大を目指す

- 路線バスの運行を支援するプラットフォーム型のユニット「LIVU (LECIP Intelligent Vehicle Unit)」の拡販推進。
- バスの運行業務を支援する様々な機能の提供が可能。
- 将来的には、バス車載機器の自動化における中心的な役割を果たす製品。  
バス事業者様の、オペレーションの最適化に貢献する製品として、路線バスへの標準搭載を目指す。

## 路線バス 運行支援システム

【業務構成図 (一例)】



ひとつのユニットに  
アプリを入れることで  
音声放送や  
バスロケーション等の  
機能が実現できます。



【業務構成図 (一例)】

### ● 【主な機能】

- ▶ GPS活用による、車内の自動案内放送機能、  
運賃表示器・運賃データの自動更新機能。  
⇒ バス乗務員の運行業務負担を軽減。

- ▶ 運転席のディスプレイで、運行経路ナビ表示、  
停留所ごとのダイヤ時刻表示等、  
乗務員へのお知らせ機能。

⇒ リアルタイムで運行状況の確認が可能となり、  
安心・安全・正確な運行をサポート。



- ▶ バス車載機器から得られる乗客の乗降データ、  
車両運行データ (走行距離、燃費、所要時間等) など、  
バスの運行に関するあらゆるデータの収集、  
一元管理、目的に応じたアウトプットが可能。

⇒ 収集した様々なデータを活用することで、  
バス事業者様のオペレーションの最適化  
をサポート。



## ■ 産業機器 (エネルギーマネジメントシステム) 分野の市場開拓

温室効果ガス削減の動きが進む中、  
産業用車両の電動化が加速。



これまでのバッテリー式フォークリフト用充電器での実績をベースに、各種産業用EV移動体、スモールモビリティ等、新たな分野への展開をめざす。

### フォークリフト用充電器 (国内トップシェア)



#### 農業用機械



#### 建設機械



#### スモールモビリティ



電源ビジネスで培ってきたバッテリーに関する知見や電流・電圧のマネジメント技術。



IoTを活用したバッテリー遠隔監視機能等の開発を足掛かりに、エネルギーマネジメントシステムの充実を図り、再生可能エネルギーやスマートシティなど、新たなビジネス領域の開拓にも挑戦。



#### IoTを活用した保守システム



見える化

遠隔操作

LIVU応用

#### エネルギーマネジメントシステム

遠隔監視・制御

電力制御

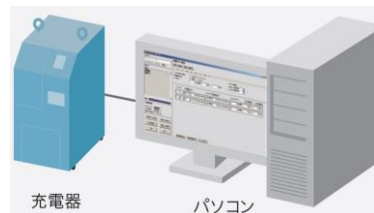
充電制御

ピークカット  
ピークシフト

蓄電技術

太陽光×蓄電池

#### メンテナンスコストの低減



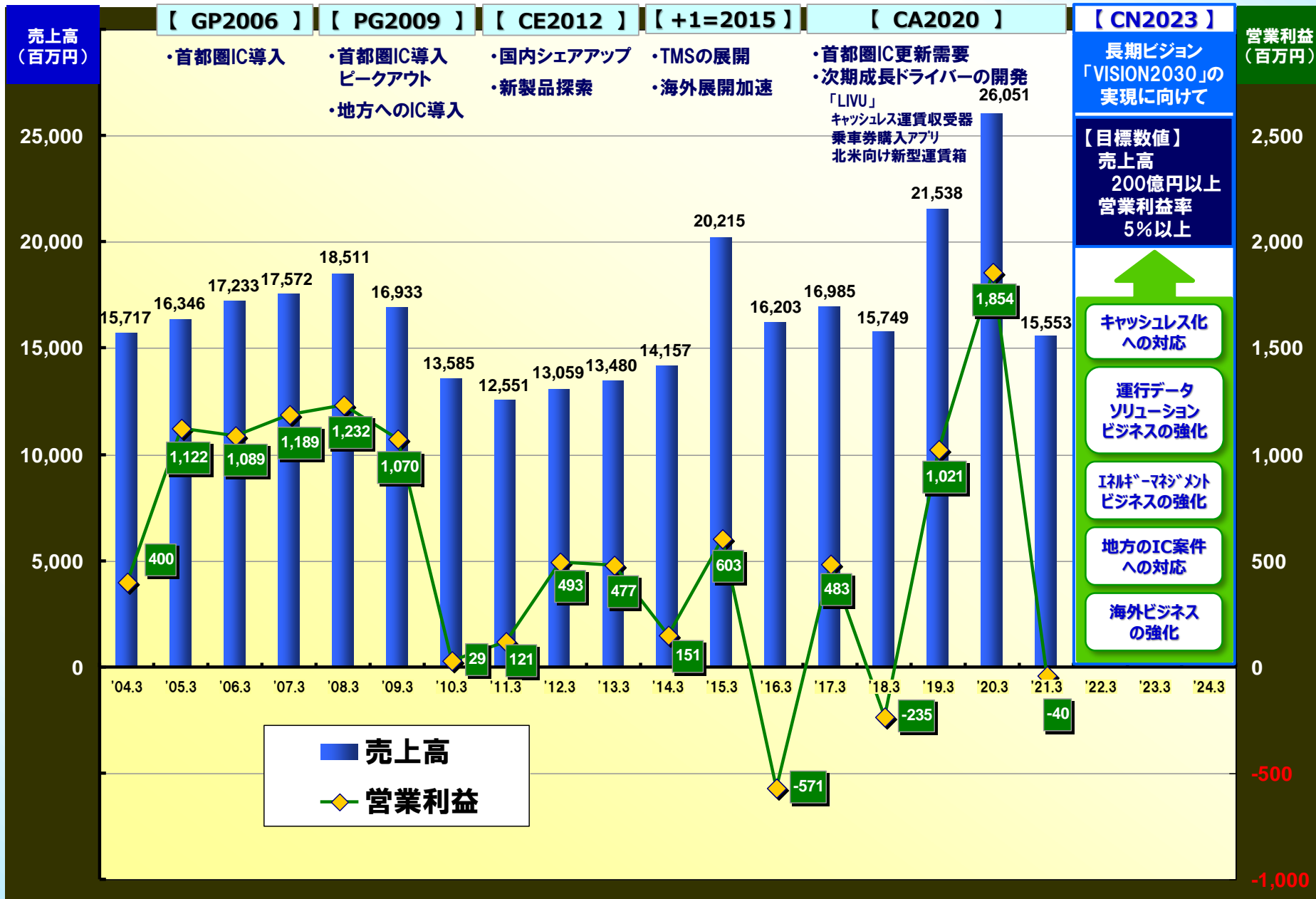
充電器

パソコン

#### エネルギー有効活用



# 中期経営計画の推移



# LECIP

## GROUP

### レシップホールディングス株式会社

【資料お問合せ先】

管理本部 総務部

電話番号：(058)324-3121

【将来予測について】

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。